

# 博多家ふるさと版 春号



博多人形師として60年余修練を積んだ益永栄喜も人形の顔を描く瞬間は己に妥協を許さない。見学者の前ではおだやかに語り、実演を披露する益永氏であるが、顔を描くときは、絶対的に唯一とり人形に向き合うという。

益永氏は新作博多人形展で内閣総理大臣賞を二度受賞した。題材には能面作師「夜叉王」と流罪の僧「俊寛」を選んだ。華やきを一切排除したモチーフはその斬新さが審査員を驚かせた。高い評価を得たことを喜ぶ益永氏であるが、一方で、制作にのめりこみすぎた、自作であ

## 「博多町家」ふるさと館で出会う 博多の伝統工芸 匠の技と心意気

〈博多人形〉

繊細な筆遣い、写実の追及、博多人形師として60年余修練を積んだ益永栄喜も人形の顔を描く瞬間は己に妥協を許さない。見学者の前ではおだやかに語り、実演を披露する益永氏であるが、顔を描くときは、絶対的に唯一とり人形に向き合うという。

〈博多織〉

黒田長政が幕府への献上品として選んだ当時から、博多帯は上質のものとして高く評価される。仏具の独鈷と華皿をデザインした献上柄の男帯は刀を差す武士にとって緩まない最高のブランド品であった。男の職人たちは精進潔斎をして機を練ったという。以来、技術と伝統は高いプライドのもとに守られてきた。

現代、女性の博多織作家たちの活躍がきわだつ。当館で実演を担当する三名について、昨年、盛かおるは西部伝統工芸展で最高賞を受賞、近藤啓子は博多織求評会で内閣総理大臣賞を受賞



した。宮嶋美紀は伝統工芸士の認定を得た。

遙か昔、応神天皇の頃、具の国の織姫たちが絹織物の技術を日本にもたらした伝説がある。いま、博多織帯に精魂かけて取り組む彼女たちと出会い、ふと古代の織姫たちに思いを寄せてみる。

(松尾)

「博多町家」ふるさと館では、博多の伝統工芸品の実演を見る

ことが出来ます。事前の予約等があれば、体験も可能です。人形、織のほかに、博多曲物、博多独楽、博多張子など、伝統工芸の職人との出会いを貴重な体験としてお楽しみください。

博多張子 ストラップ子虎 三浦隆作 1,540円(税込)

博多張子 置き型子虎 三浦隆作 1,540円(税込)

1 博多張子 虎 三好由美子作	11,000円(税込)
2 博多張子 豆虎 三浦隆作	5,940円(税込)
3 博多張子 豆虎 三好由美子作	4,290円(税込)
4 博多張子 ミニ豆虎 三浦隆作	3,960円(税込)
5 博多張子 首振り虎 三好由美子作	3,410円(税込)

博多張子虎 博多張子虎 博多張子虎 博多張子虎

その他、みやげ処商品はHPからもご覧いただけます。 ネット販売: <https://www.hakata-machiya.com/store/>

## 令和6年 イベントスケジュール

**3月1日** ~ **4月3日** **季節展ひなまつり**  
桃の節句のひなまつり。博多のご家庭で毎年飾られてきたひな人形を展示します。かわいらしいおひなさまが、皆様のお越しをお待ちしております。

**4月23日** ~ **6月20日** **第27回博多町家思い出画展**  
今では見ることができなくなった風景や、昔の暮らし、子供の遊びなどが描かれたユニークな作品が、なつかしい思い出と共に集まりました。福岡市長賞、「博多町家」ふるさと館長賞、福岡市美術館賞、福岡アジア美術館賞などをはじめ、応募作品を展示いたします。

**5月3日** (日・祝) **4日** (祝) **博多どんたく港まつり演舞台設置**  
重要無形民俗文化財に指定された「博多松囃子」が表歌に訪れます。(3日は稚児、4日は三福神、両日8時45分頃)。3日は10時~17時、4日は10時~12時30分まで町家様がどんたく演舞台になります。

**5月4日** (日・祝) **募集中!!**  
「博多町家」ふるさと館どんたく隊”参加者募集中!  
当日踊りの練習をして博多どんたくパレードに参加します! 5月4日のパレードにご一緒に参加しませんか? お一人様でも、グループでも皆さんでお祝いしましょう。

- 法被購入プラン 3,700円 (法被、入館料、パレード参加、しゃもじ付き)
- 法被レンタルプラン 2,700円 (法被レンタル、入館料、パレード参加、しゃもじ付き)
- リピータープラン 1,500円 (入館料、パレード参加、しゃもじ、預り券付)
- 子供法被レンタルプラン 500円 (法被レンタル、パレード参加、しゃもじ付き) ※数に限りがあります

※中学生以下は保護者同伴で無料(しゃもじ付き)

定員:100名 申し込み方法:参加者、住所、メールアドレスまたはFAX番号、プラン内容をふるさと館までご連絡ください。

**その他通常イベント**

- ◆ **伝統工芸の実演** 10:00~12:00 14:00~16:00
  - 目 博多人形
  - 火 博多張子
  - 水 博多独楽
  - 木 博多曲物
  - 金 博多人形
  - 土 博多人形
  - 日 博多人形
- ◆ **博多織実演** 11:00~13:00 15:00~17:00
- ◆ **博多まち歩き 無料定時ツアー** 14:00~
- ◆ **町家でのイベント** 13:00~
  - 博多にわか公演
  - 筑前琵琶公開稽古
  - 博多町家文化連盟公開稽古

◆ **博多まち歩き 無料定時ツアー** 14:00~

◆ **町家でのイベント** 13:00~

博多にわか公演  
筑前琵琶公開稽古  
博多町家文化連盟公開稽古  
開催日はホームページにてお知らせいたします

その他さまざまなイベントを実施しております。詳しくはホームページをご覧ください。

**Instagram 随時更新中**

「博多町家」ふるさと館の公式Instagramです。フォローよろしくお願いたします。

**休館日のお知らせ** 4月22日(月)、5月27日(月)、6月24日(月)

**開館時間のお知らせ** 展示棟・町家棟… 午前10時~午後6時  
※展示棟入館は閉館時間の30分前まで みやげ処… 午前10時~午後6時

**アクセス**

- 空路から
  - ◆ 地下鉄【空港線】祇園駅下車、徒歩5分
  - ◆ タクシーで15分
  - ◆ 徒歩15分
- JR博多駅から
  - ◆ タクシーで5分
  - ◆ 地下鉄【七隈線】柳田神社前駅下車、徒歩4分
  - ◆ 地下鉄【空港線】祇園駅下車、徒歩5分
- 天神から
  - ◆ 地下鉄【七隈線】柳田神社前駅下車、徒歩4分
  - ◆ 地下鉄【空港線】祇園駅下車、徒歩5分
  - ◆ 西鉄バス(博多駅行き)キャナルシティ博多前下車、徒歩3分
  - ◆ 福岡都市高速環状線「呉服町ランプ」を出て約1.5km、もしくは「千代ランプ」を出て約1.2km

※専用駐車場がございませんので、お近くのコインパーキングもしくは公共交通機関をご利用ください

問い合わせ・申し込みなどはこちらへ

〒812-0039 福岡市博多区冷泉町6-10 (柳田神社 正門鳥居前)  
TEL:092-281-7761 FAX:092-281-7762  
E-mail: [furusatokan@hakatamachiya.com](mailto:furusatokan@hakatamachiya.com)

開館時間: 午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)  
※7月、8月は午前9時~午後6時

休館日: 第4月曜日 (祝休日の時は翌平日)  
年末(12月29日~31日)

入館料: 展示棟のみ 一般/200円(20人以上は150円)  
中学生以下/無料 ※65歳以上(福岡市・北九州市・熊本市・鹿児島市内居住者)、または心身障がい者の方は無料です。(証明できるものをお持ちください)

ホームページ: <https://hakatamachiya.com>

# 博多文化 継承人

## 福岡市で最も歴史のある少年野球「博多少年ファイターズ」

博多少年ファイターズ創部五十周年実行委員会 実行委員長 高山定史さん  
博多少年ファイターズ代表 櫻木壮太郎さん



「どんなチームですか」

博多少年ファイターズ（旧冷泉少年ファイターズ）は1975年に冷泉地区を中心に誕生しました。チームポリシーは「明るく、楽しく、美しく」。創部以来、体力向上はもちろん、礼儀正しさをルールを守る社会性、相手を思いやるやさしさ、感謝の気持ちなどを忘れることなく、野球向上を目的に日々活動しています。

部員は24名と所属リーグの福岡少年野球サンデーリーグ連盟（20チーム加盟）でも2番目に多い部員数です。男女を問わず希望者は大歓迎、誰でも入部できます。

練習日は週2日（火・水曜日）2時間程度博多小学校にて、試合時（土・日曜日）は博多中学校をお借りして汗を流しています。幸いに監督、コーチ陣、野球経験豊かな

な諸先輩の指導を仰ぎながら心身を鍛えています。  
「親から子へ、子から孫へつなぐ」

博多は山笠を始め多くの祭りがあります。祭りを通して先輩を敬う気持ちや次世代を担う若者が育つ環境があります。少年野球でも同様に「親から子へ、子から孫へ」野球を通して苦楽を共にすることで、つなぐ心が作られていきます。親子、親子孫三代にわたり部員だった家族もあります。きずなの強さがファイターズの強さの秘訣かもしれません。

ただ、これまで順風満帆だったわけではありません。長い歴史の中では部員の確保もままならず、チーム存続が危惧された時期もありましたが、歴代の指導者や保護者、関係者、地域の皆様のご協力で乗り切ってきました。



50周年記念事業について  
来年の1月に開催予定です。現在決定しているものは記念式典や功労者の表彰、記念誌の発行です。過去には30周年、40周年に記念誌を発行しています。  
記念事業につきましては現在検討中です。参加される皆さんの想いに寄り添った内容が望ましいかと思えますし、チームの「絆」をより深める事業を開催したいと考えています。

### 「博多もちつき」復活！

4月20日「博多もちつき」をにぎやかに開催しました。感染症対策で数年自粛していた餅の試食は、皆様の強いご要望にお応えして復活することができました。餅の振る舞いのため、長い行列に並んでくださったお客様、本当にありがとうございました。

当日は、恒例の地元消防団のまじり振りからスタート。木遣り唄や、団員の方々のいなせないでちにほればれました。もちつきは博多町人文化連盟の方々による三味線や太鼓のお囃子に合わせて、時に早く、時にゆっくり、調子よくついでいきます。手際よく餅をまるめてくださるのは、白割烹着の博多ごりよんさん・女性の会の方々。博多の地元の方々を中心に、終始笑いの絶えない「博多もちつき」が、コロナ前のように完全復活しました。



### 博多港のシンボル

## 『博多ポートタワー』に行ってみらんね！

博多港にそびえ立つ赤と白の塔。興味をひくその建物は、博多港のシンボル『博多ポートタワー』です。今回は、友人を誘って博多ポートタワーを見学してみました。地元の方が散歩ついでに立ち寄ることもあり、エレベーターの中で博多ポートタワーの思い出を聞かせてくれる方も出会いました。知る人ぞ知る観光スポットです。

### 1Fエントランス

1Fの博多港ベイサイドミュージアムは、明るい空間が広がっていて、たくさん国際信号旗が入場者を出迎えてくれます。パネルをじっくりと読んで、博多港が果たしている役割や、その歴史を楽しく学ぶことが出来ました。5世紀（401～500）から19世紀（1801～1900）にかけて博多港を出入りしていた昔の船の模型も展示されていました。骨組みや戦闘用の櫓などの忠実な再現は見応えがあります。船の中で迅速に連絡事項を伝達するための「伝声管」や、図



書コーナーも設置されていて、船マニアにはたまらない内容です。

### いざ、展望室へ

エレベーターで博多ポートタワー展望室へ。扉が開くと、目前に福岡と博多の町並みと緑萌ゆる山々が広がり、ぐるりと周れば博多湾を見る



ことが出来ます。お天気にも恵まれ、美しい眺望に歓喜しました。万葉集にも詠われた能古島や志賀島も見えます。足元にはベイサイドプレイスや国際会議場、西の方にはPayPayドームが見えます。活気ある都市、福岡と博多の景色を360度楽しむことが出来ました。



今回ご紹介した博多ポートタワーは、開館時間が10時～17時（入場は16時40分まで）、休館日が毎週水曜日（水曜日が休日の場合は、翌平日）と年末年始（12月29日～1月3日）、入館料は「無料」です。博多に来られた際には是非足を運んでみてください。（佐藤）

### 博多ポートタワーちょこっと話

これは、あまり知られていない話。博多ポートタワーは、名古屋テレビ塔、さっぽろテレビ塔、東京タワー、別府タワー、通天閣を設計した塔博士・内藤多仲氏が手掛けた「タワー六兄弟」の末っ子だったりします。一見似てないと思われるかもしれませんが、よく見れば色々な箇所に共通点があります。気になる方は、写真を見比べてみてください。面白い発見があるかもしれませんよ。